

喜多原だより

NO. 75号

令和3年10月吉日発行

参観週間を通して

～教頭 稲村 徹～

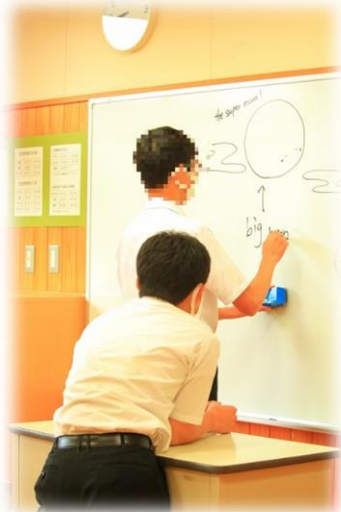
今年も暑かった夏休みが終わり、いずみ分校・分教室も二学期のスタートを切りました。夏休みには鳥取県内において新型コロナウイルス感染症の大規模なクラスターが発生するなど、夏休み中の様々な予定がどうなるのか、二学期のスタートが切れるのかなど、先の見えない状況の中で生活でしたが、子どもたちは補習や日々の日課にしっかりと取り組んでくれていました。その甲斐もあってか、非常に落ち着いていた二学期のスタートを切ってくれています。

さて、いずみ分校・分教室においては、五月十七日から二十一日にかけて参観週間を設けました。昨年から新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、子どもたちの活動の様子を見ていただく機会がなかなか作れない状況でしたが、感染症対策の徹底をはじめ、学園の協力をいただきながら、無事実施することができました。実施にあたっては、園遊会も中止になる中で実施してもいいものかどうか、感染症対策をどのくらい行えばいいのか等、学園とも協議を重ねました。それでも、学園・分校・分教室で頑張っている子どもたちの姿を見ていただき

たいという思いで実施を決定し、準備を行いました。

当初は、状況的に多くの方に来てもらうのは難しいのでは・・・と思っていましたが、保護者の皆様をはじめ関係の方々に多数参観をいただきました。参観いただいた方からは、「参観できてよかった」「機会があればほかの授業も参観したい」といった声をはじめ、「以前に比べ集中し、落ちついて学習に取り組んでいて感心した」「積極的に授業に参加していて成長を感じられた」といった感想をたくさんいただきました。また、子どもたちも保護者の皆様や、原籍校をはじめとした関係の方々に参観いただいたことを大変喜んでいました。参観いただいた皆様、ありがとうございました。

さて、この参観週間ですが、2学期にも実施を計画しています。1学期に引き続き、多くの方々に参観いただき、子どもたちの成長した姿、頑張っている姿を見ていただけたらと思います。



スポーツ活動

中国地区野球大会

〔野球部監督 光宗哲平〕

喜多原学園野球部は、下は年齢小学四年生から上は中学三年生まで、野球が好きな児童もいれば、苦手の児童もいる状況で、トラブルは多々ありましたが着実に児童全員が野球のレベルアップに伴い自信を付けていきました。対外試合でも勝利を重ね「今年はいける！」と確信を持っていましたが、コロナウイルスの影響により、去年に引き続き全国大会がなくなったと聞いたとき、児童たちはもちろん、私自身含めて何を目標に頑張ればよいのかわからなくなった時期もありました。

モチベーションの維持が課題でしたが、全国がだめでも中国地方で最強になるうという気持ちの元、再度新たな気持ちで皆が練習に取り組み、大きく成長しててくれたと思います。大会では緊張のあまり会場に飲まれ気味だった児童たちですが、皆が大きな声を出し合い、普段トラブルを起こしがちであったも、「試合に勝つ」という一つの目標に皆が迎えた大会でした。その結果が優勝という形で現れ、児童たちにとっての大きな自信につながる貴重な体験であったと

思います。その現場に監督として立ち会えたことにとっても感謝しています。

児童作文

〔野球部主将 中3児童〕

今年是全国大会出場を目標に、四月の入所児童八人で、練習を始めました。

しかしうまくは行くわけもなく、練習試合をわかれたけ学園、成徳学校とさせてもらい、自分たちの課題が分かってくるまで、練習の仕方変わっていききました。

今年度も、全国大会がなくなったことを知らされても、チームの士気が下がることなく、中国地区優勝を目的に活動を進めていき、本番に挑みました。

緊張していた初戦では練習試合で負けた成徳学校とあたり、初回に三塁取、危ない場面もありましたが、三対二で接戦を勝ちぬきました。二回戦は広島学園で、初戦で勝った波に乗って初回から三塁を取り、六対二で勝ち、中国地区優勝をすることが出来ました。

みんながこれまでの練習の成果を出すことが出来て優勝することが出来たとでもうれしかったです。今回はコロナの影響で無観客でしたが、これまで応援してくださった方々ほんとうにありがとうございました。



水泳活動

〔水泳部監督 落合 知香〕

令和三年度の水泳練習は、ななん月十日から八月二十五日まで行いました。水泳経験があり泳ぐことが好きな児童や、水に慣れることから始めた児童、より早く泳げるように頑張る児童等、お互いにアドバイスや励ましあいながら、練習に



取り組みました。前年度の練習内容も参考にしながら、クロールと平泳ぎを中心に練習をしました。水泳練習が始まってすぐには、練習メニューが多い、できない、という不満を訴えることや練習時間が短いということを訴えてきたこともありましたが、しかし、練習の日数を重ね、子どもたちの中に水泳練習の日課が定着するにつれて、意欲的に練習に取り組む姿が印象的でした。子どもたちは水泳練習を通し、タイムや泳ぎはもちろんのこと、仲間とのコミュニケーションの取り方や自分自身の得意なこと、少し苦手なことに取り組めた夏だったように思います。

子どもたちの成長が身近で感じられた夏であり、とても幸せに感じました。

行事等

大山登山

女子寮副寮長 小谷智志
令和三年六月二十五日(金)、児童十三名、学園職員と分校職員十四名、合計二十七名で、大山登山に行きました。鳥取県の大山登山における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のガイドラインを参考に、安心・安全な登山となるよう留意しながらの実施でした。

当日の天候は、あいにくの曇り時々小雨でしたが、学園児童(と職員数名)は、途中あきらめそうになる場面もありましたが、同じグループの他児童や職員から励まされ、結果、全員が無事に登頂することが出来ました。

今年度は、事前にプレ大山登山と題して、五月三十一日(月)に、学園から伯耆町総合スポーツ公園間の往復約十五キロメートルの競歩遠足を実施しました。そこで、本番の登山に向けて、児童一人ひとりの脚力の見極めを行ったり、児童間の結束を高める機会を作りました。

今回、誰ひとりとして脱落することなく全員が登頂出来た事は、良い思い出になったことは勿論、今後の学園生活や人生において、かけがえのない成功体験になったことでしょう。

児童作文

小学六年 女子児童

大山登山では、「最後まで声をかけ合って登りきる」を目標に頑張りました。女子寮では、登ったことがある児童が二人いて、その二人の声かけでみんなが頑張れたと思います。今年は喜多原学園の児童・職員さん全員が登りきる事ができました。

私は、大山登山を通して、「声かけが大切」ということを学びました。大山登山以外でも、生活面や運動面でも、役立つと思うので、今回学んだことを活かしてみんなが頑張れる声かけを増やしていきたいです。



田植え

児童自立専門員 西尾弘規

令和三年五月十九日、地域住民の方々のご協力、ご指導をいただき、田植えを体験させていただきました。四月に種植えから体験させていただきましたが、児童たちの中には、植えた種が「ここまで成長したのか」と感動している子もいました。また、ここまで管理してくださった地域住民の方に感謝を覚える子も少なくありませんでした。

さて、いざ田植えとなると、ぬかるんだ水田に裸足を入れるので、初めての経験だったのではないのでしょうか。とても楽しんでいる子もいれば、「やりたくない」と心が折れかける子がいました。しかし、地域住民の方から励ましの声をいただき、全員が最後までがんばることができました。田植えでは、声掛けに合わせて植えていきました。児童たちの中には、周りに合わせて行動することが苦手な子もいますが、全員が息を合わせて、周りを気にしながら考えて取り組むことができました。苗がない場所には、気を利かせて、多いところから運んでくれる子もいました。途中から、「大人vs子ども」で植えましたが、おたがいに張り切って取り組むことができたと思います。



田植えが終わり、最後の挨拶では感謝の心を伝えることができました。終わったところには皆達成感を感じ、協力することのすばらしさを学びました。学園に戻り、寮で振り返りを行いました。体験させてもらったことに感謝したい。「お米を作る大変さを学んだ」「食べ物大切にしていきたい」と素晴らしい感想を話してくれました。行事担当者として、米作り体験を実施することができた意義と、協力してくださった地域住民の方々に対する感謝を感じました。

九月には稲刈りを実施予定です。自分たちが植えた種がどのくらい大きくなっていくのか期待を膨らませながら望みたいと思います。次回も感謝を感じ、取り組んでいきます。

夏休み

児童作文

『2021 アツい夏休み』

～ 中学二年 女子児童 ～

今年の夏はすごく暑くて熱い夏でした。特に今年の日課は、朝は7時起床で、そこから作業、水泳、自習、ラジオ体操、バレーを1時間半とすごくハードな日課でした。

でも、寮行事でみんなで寮内カラオケ、肝試し、花火をして楽しかったし、何よりみんなが笑顔でやっていたので、すごくよかったです。

だけど、コロナの影響で夏休みにみんなでしたかったキャンプができなくて残念でした。それでも、職員さんや実習生さんや女子寮のみんながいたから楽しい夏休みにする事が出来ました。楽しかったです。



令和3年度 喜多原学園今後の行事予定

- 10月 中国女子バレーボール大会、中学校修学旅行
- 11月 中国地区駅伝マラソン大会、学園創立マラソン、小学校修学旅行
- 12月 クリスマス会、餅つき
- 1月 とんど祭り
- 2月 スキースノーボード体験
- 3月 卒業式、離任式

※コロナ感染状況等で中止、変更の可能性あり。

児童在籍情報

	小学生		中学生		中卒生		合計	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
R2 4月1日	3人	0人	5人	2人	0人	3人	7人	5人
R3 1月1日	6人	1人	7人	3人	0人	2人	13人	6人
R3 4月1日	3人	2人	5人	1人	0人	1人	8人	4人
R3 9月1日	3人	2人	7人	1人	0人	1人	10人	4人

編集発行

鳥取県立喜多原学園

鳥取県米子市泉706

TEL 0859-27-1101

FAX 0859-27-1611

編集後記

喜多原だより No. 75号を作成させていただきました。今年度もコロナ感染は治まらず、昨年に引き続き予定していた行事や外部交流が少なくなっていました。今年度より年複数発行することにより早く当学園の活動内容を皆様に伝えることができるようにと思っており、夏号として発行させていただきました。

日頃お世話になっている地域の皆様、学校の先生方、関係者の皆様に、学園職員一同、深く感謝申し上げます。今後とも御支援、御協力いただきますようよろしくお願いいたします。